

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	江東園つばき保育園
施設所在地	江戸川区春江町 2-5-15
事業所名	社会福祉法人 江東園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

六感(視・聴・触・味・嗅覚+情感)

<テーマの設定理由>

六感を交えながら、テーマに沿った園児の発見を見ていくため。
保育目標「夢のある子・感性の豊かな子」に向けて子どもを育てるため。

2. 活動スケジュール

令和7年8月1日～令和8年3月31日まで

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

8/21(木) 準備物…絵の具・水・透明カップ

環境…水遊びの際に実施

9/5(金) 準備物…片栗粉・水・トレイ・雑巾

環境…感触遊びの際に実施

10/21(火) 準備物…特になし

11/26(水) 準備物…①透明なプラスチックの箱・ゴミ袋・水・カラーフィルム

②透明なプラスチックの箱・スポンジ・ブロック・風船・水

環境…うさぎ組保育室

12/18(木) 準備物…透明なプラスチックの箱・ゴミ袋・水・カラーフィルム・ペットボトル

・お花紙

環境…うさぎ組保育室

1/22(木) 準備物…色付き氷・お湯・水・トレイ・かき氷機・紙コップ

環境…うさぎ組保育室

2/9(月) 準備物…特になし

環境…戸外(土手)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

日付	活動内容(文章と写真2枚以上)
8/21(木)	<p>色水遊びの際に色水を行う。色の変化を楽しむ。</p> 
9/5(金)	<p>感触遊びの中で、片栗粉を使う。片栗粉の感触の変化を楽しむ。</p> 
10/21(火)	<p>散歩中に緑道の水の流れやお魚が泳いでいる時の水の動きに気付く。</p> 
11/26(水)	<p>先月の緑道の水が流れていた事に気づき、今回は自分たちで水の流れを作り、物が流れていく様を楽しむ。</p> 

11/26(水)

箱に溜まった水に様々な物を落とし、沈むか浮くか観察する。
又、落ちた時の水の音を楽しむ。



12/18(木)

先月行った自分たちで水の流れを作り、物が流れていく様子を楽しむ事を展開し、今回は流れる所に筒などの障害物を作り水の流れを楽しんだ。又、水道からペットボトルで自ら水を汲み、水の溜まる様子も観察した。



1/22(木)

色の付いた氷にお湯や水を掛けて、溶ける様子を観察した。トレイを揺らし氷の動く様子や溶ける様子を発見していた。その後、かき氷機で雪の様な氷を作り、掌に乗せたり、紙コップに入れ触って楽しんだ。



2/9(月)	<p>土手に残っている雪を触る。指でつつく、手で持つ、足で踏むなどの感触を楽しんでいた。大きな塊になっている雪に興味を示し、押すが全く動かず雪の塊の硬さ、重たさを感じていた。</p> 
--------	--

5. 振り返り

日付	活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり	振り返りによって得た先生の気づき
8/21(木)	<p>「あ、色だ」「なんだ？」声を出すことや水が透明だが、色が変わったことに不思議な目で見つめる。 保育士が「何色になったかな？」と問いかけることで、色の把握をする。</p>	<p>水遊び期間中ということもあり、水に関わる感触遊び及び視覚的に分かる色を組み合わせることで園児が触覚・視覚での刺激を与えることができた。</p>
9/5(金)	<p>「うわー」「気持ちがいい」と片栗粉が水を含むと状態が変化することを見つめる。また、園児同士で腕に塗ることをしていた。 保育士が「どうかな」など問うことで、状態変化をしていた。</p>	<p>水をしようとした遊びの延長で、片栗粉の感触遊びを実施する。粉から白いとろみに変わることで、触覚・視覚での刺激を与えられた。</p>
10/21(火)	<p>「お魚がいた」「動いてる」「はっぱがいちゃった」等の声が聞かれる。 保育士や他児が「水が動いてるね」「チャブチャブ」等を声に出す事で見えていなかった園児も指を差し発見する。</p>	<p>以前から散歩中に水が流れていくのを観察していた為、今回は普段よりゆっくり観察する事で園児からの発見もあった。視覚・聴覚での発見や刺激があった。</p>

11/26(水)	水が流れたり、その水でセロファンが流れ落ちていくのを見て「あっ！」と驚く。「次はこっち」と流してほしいセロファンを保育士に伝える。又、箱に落ちる水を見て「見てみて」と指を差し伝えていた。	自分たちで作った水の動きに興味を持ち発見を楽しむ事が出来た。水の勢いを変える事で園児から歓声が聞ける事ができ、違いを感じていると思った。
11/26(水)	保育士が様々な物を落とすと顔を上から下に動かし、じっくり見ている。「プカプカするかな？ジャバンてなるかな？」と聞くと「プカプカ」と答えていた。	実際に水に落とすと次は何だろうという様子が伝わってきた。沈むか浮くか質問をするとしっかり答えがあり、興味がある様子が感じた。最後は自分たちでも水に入れ実際に遊べる事ができよかった。
12/18(木)	ペットボトルなどで筒を作り保育士が「ここに入れたらどうなるかな？」と問いかけると始めはそっと水を流し徐々に勢いをつけて水を流し「ジャー」「ジャバン」と水の流れる音を真似していた。	始めは水を汲むのは保育士が行う予定であったが園児のやりたい気持ちを大事にし、一緒に行なった事で活動を意欲的に出来た。園児自身が水の勢いを調整する事ができ、新たな発見であった。
1/22(木)	まず氷に興味を示し、触り「つめたい」と言っていた。お湯と水を見せ「ここに入れたらどうなるかな？」と問いかけると首を伸ばし覗いていた。その後、トレイを揺らし動きや氷が小さくなる様子を歓声をあげていた。かき氷機の氷を渡すと「パラパラ」「雪みたい」という声が聞かれた。	氷やお湯、お水に興味を示していたので個々に触り温度や感触の発見が出来た。予想よりも色の付いた氷が溶けるのが分かりにくく園児の反応が薄かった。氷の音や温度や感触の方が分かりやすく園児を反応を示していた。今回は自然の雪を触りたかったが難しく機会があれば触れる活動をしたい。
2/9(月)	週末に降ったこともあり、各家庭で雪遊びをした上での活動であった為、土手に行く道で「雪あったよ」「いっぱい」とまだ残っている雪を見つけて楽しんでた。土手では触ることに躊躇する園児もいたが他児や保育士の様子を見て触り遊ぶ事が出来ていた。	自然の中での雪や氷作りを予定していた所、雪が降り急遽、雪遊びを行ったが週末に家庭で遊んでいることもあり、その延長として遊ぶ事が出来た。数日前の雪だった為、形を作るのは難しかったが手に持ち落としたり投げたり遊ぶ事ができ良かった。